

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・ 通級による指導 ・通常の学級・その他		
校 種	小学校	学 年	1・2・ 3・4 ・5・6年
指導場面	授業 ・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・ 学習障害 ・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	国語		
タイトル	文章の内容を読み取ろう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	文章の読み取りが苦手で、手がかりとなる言葉がどこに書いてあるのかを見つけることが苦手である。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	問題を解くときに、本文の中から手がかりとなる言葉を見つけ出すことができるようになる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組			

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

国語のテストで、問題文から答えを導き出すときに、問題に含まれる言葉を本文から探し、それを手がかりに答えを導き出す練習を行ってきた。普段の通級指導の時間には、声かけしながらキーワードを探すよう支援してきた。しかし、休業中の家庭学習では、一人で取り組まなくてはならない。保護者の協力が得られにくい家庭環境にある児童にとっては、課題に取り組むことは、一層困難なものになってしまう。そこで、プリントを配布するときには、励ましの手紙を添えたり、キーワードが目につきやすいように色づけしたり、イラストや写真を用いたり、自主的に学習しようとする意欲が高まるよう工夫して取り組んできた。

学校再開後は、休業中に作成したプリントを用いて指導を行っている。1枚のプリントの問題量が少なくヒントを見つけやすいため児童も比較的意欲的に取り組んでいる。

【出典】「ヤドカリとイソギンチャク」 東京書籍 小学4年
自作プリントの一部

なぜ、ヤドカリは、いくつものイソギンチャクを貝がらに付けているのでしょうか。

このことを調べるために、次のような実験をしました。

まず、おなかをすかせたタコのいる水そうに、イソギンチャクを付けていないヤドカリを放します。タコはヤドカリが好物なので、長いあしですぐヤドカリをつかまえ、貝がらをかみくだいて食べてしまいます。

次に、イソギンチャクを付けているヤドカリを入れてみます。タコは、ヤドカリをとらえようとしてしきりにあしをのびしますが、イソギンチャクにふれそうになると、あわててあしを引っこめてしまいます。ヤドカリが近づくと、タコは後ずさりしたり、水そうの中をにげ回ったりします。

実は、イソギンチャクのしよく手は、何かがふれるとほりがとび出す仕組みになっています。そのほりで、魚やエビをしびれさせて、えさにするのです。タコや魚はこのことをよく知っていて、イソギンチャクに近づこうとはしません。それで、ヤドカリは、イソギンチャクを自分の貝がらに付けることで、敵から身を守ることができるのです。

① このことは何でしょう。

② どんな実験をしましたか。

まず

次に

③ ヤドカリは、どのように

敵から身を守っています

か。

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学 び の 場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	登校しない日の自宅学習課題の工夫		
タイトル	くるりんぱこで 気分もくるりん 楽しく学習！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	プリント学習中心の家庭学習には前向きに取り組むことが難しい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	カードを入れたりつまんだりする際に指先を使い、カードの入れた面と違った面が出てくるわくわく感を感じながら学習に取り組むことができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	1人に1箱を持ち帰ることで、箱を共有せず感染のリスクを減らす。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

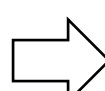
国語・算数・理科・社会・音読・外国語など、それぞれの児童に合ったあらゆる分野の課題カードを作成し、使い方の説明後に箱と一緒に渡す。



①カードの表面を見る
読む



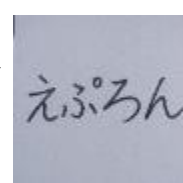
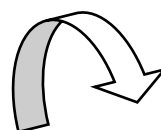
②くるりんぱこに入れると
表裏が反転して出てくる



③出てきた面（裏面）を見る
読む



(表面)



(裏面)